



2



3



7



1



6



5



4

街なかギャラリー復活祭！

12月23日、街なかギャラリーで復活祭（町観光協会主催）が開催されました。同ギャラリーは、熊本地震で被災し、約1年8ヵ月ぶりの開館。ギャラリーではガイダンスや林田能寛の紙芝居、御船高校煎茶部によるお茶の提供など盛りだくさんのイベントがありました。午後からは、熊本出身のシンガーソングライター東田トモヒロさんらも駆けつけ、会場を盛り上げました。同協会の永本文宣会長は「街なかギャラリーは御船の財産。さまざまな人たちが活用できるという流れができた。これからはもっと情報を共有しながら、活性化できるよう活用したい」と話しました。

- 1_ みんなで力を合わせて餅つき 2_ 林田能寛の紙芝居
3_ 御船高校煎茶部のお茶の披露 4_ 東田トモヒロさんらのライブ
5_ おじゃめを頭に！ 6_ 参加者で賑わった出店
7_ スラック・ラインに挑戦！！

良い年が迎えられますように

12月25日、町内の小中学校の用務員の皆さんが御船小学校でミニ門松づくりを行いました。竹やナンテン、松などを持ち寄って、シクラメンやプリムラなどの色鮮やかな花が植えられました。土台を巻いているゴザは、木村豊店から寄贈されたもの。今年は可愛いキャラクター入りのプラスチック板でつくった飾りも盛り付けしました。用務員の三澤真由美さんは「初めてつくったが、思ったより難しかった。子どもたちが笑顔で新年を迎えられますように」と話しました。ミニ門松は、各小中学校に飾られました。



思いを込めて作ったミニ門松

年末警戒中異常なし!!!

12月28日から30日まで、町消防団（内村光宏団長、425人）が年末警戒を行いました。年末警戒は、毎年、年末の火災が多くなる時期に、消防団員が各詰所などに集まり、泊まり込みで警戒を行います。団員たちは積載車で広報活動を行い、火災予防を呼びかけました。内村団長は「町民皆様の安心、安全のため、今年も消防団一丸となり精進しましょう」と団員たちに熱く抱負を語りました。



第一分団による年末警戒風景（役場前）



1.3_ 子どもから大人まで餅つき！

2_ ついたもちをさまざまな味で頬張る参加者

小坂っ子の安全見守り隊が門松づくり

12月19日、小坂っ子の安全見守り隊（上杉彦士隊長・10人）が小坂小学校の子どもたちのために門松づくりを行いました。今年で4回目となる門松づくりで使われたナンテンや松、熊笹、葉牡丹などは同隊員で持ち寄ったもの。上杉隊長は「新校舎が建つので、子どもたちには新しい気持ちで新年を迎えさせたい。また一年、健康で学問に励んでもらいたい」と胸の内を語りました。作られた門松は、校門前に飾られています。

御船台団地で復興餅つき大会

12月24日、御船台団地（滝尾）で復興餅つき大会が開催され、多くの参加者がありました。この復興餅つきは、御船台団地の復興を目指す有志一同が主催し、熊本地震から団地内の住民の復興を目指すために行われました。もち米は、玉虫区の井上隆信区長から提供されたもの。つきあがった餅をきな粉や納豆餅、あんこ餅にしたりとさまざまな復興の味が楽しめるものとなりました。『心の復興』を目指す団地内の人たちは、たくさんの交流をすることで絆を深めました。



子どもたちが元気で新年を迎えられますように

今城仮設住宅でクリスマス会

12月22日、今城仮設住宅（江藤昭生代表）のみんなの家でエルピス熊本（在日大韓基督協会と日本キリスト教団九州教区によるボランティアセンター・金聖孝牧師）がクリスマス会を開催しました。催しでは、地域住民による力強い詩吟やおじゃめの技を披露したりするなど、会場を沸かせました。金牧師のギターに合わせて、クリスマスソングをみんなで歌いました。お昼は、ケーキとサンドウィッチを食べて、交流しながら、楽しい雰囲気のままクリスマス会を終えました。



みんなで歌いながら、クリスマスを楽しみました

落合仮設住宅でコンサート

12月24日、落合仮設住宅（小林一英代表）のみんなの家で平成音楽大学出身の山崎明さん（サクソフォン奏者）と山城英樹さん（ピアニスト）のクラシックコンサートが開催されました。この企画は、くまもと音楽復興支援100人委員会が主催。コンサートは、フランスの曲から日本の童謡とさまざまなジャンルの演奏を披露。山崎さんは「クリスマスに音楽をプレゼントできれば」と話しました。観客はその音色に聴き入り、楽しいクリスマスイブのひとときを過ごしました。



「みんなの家」に響き渡る癒しの音色